

第444回 3月定例会

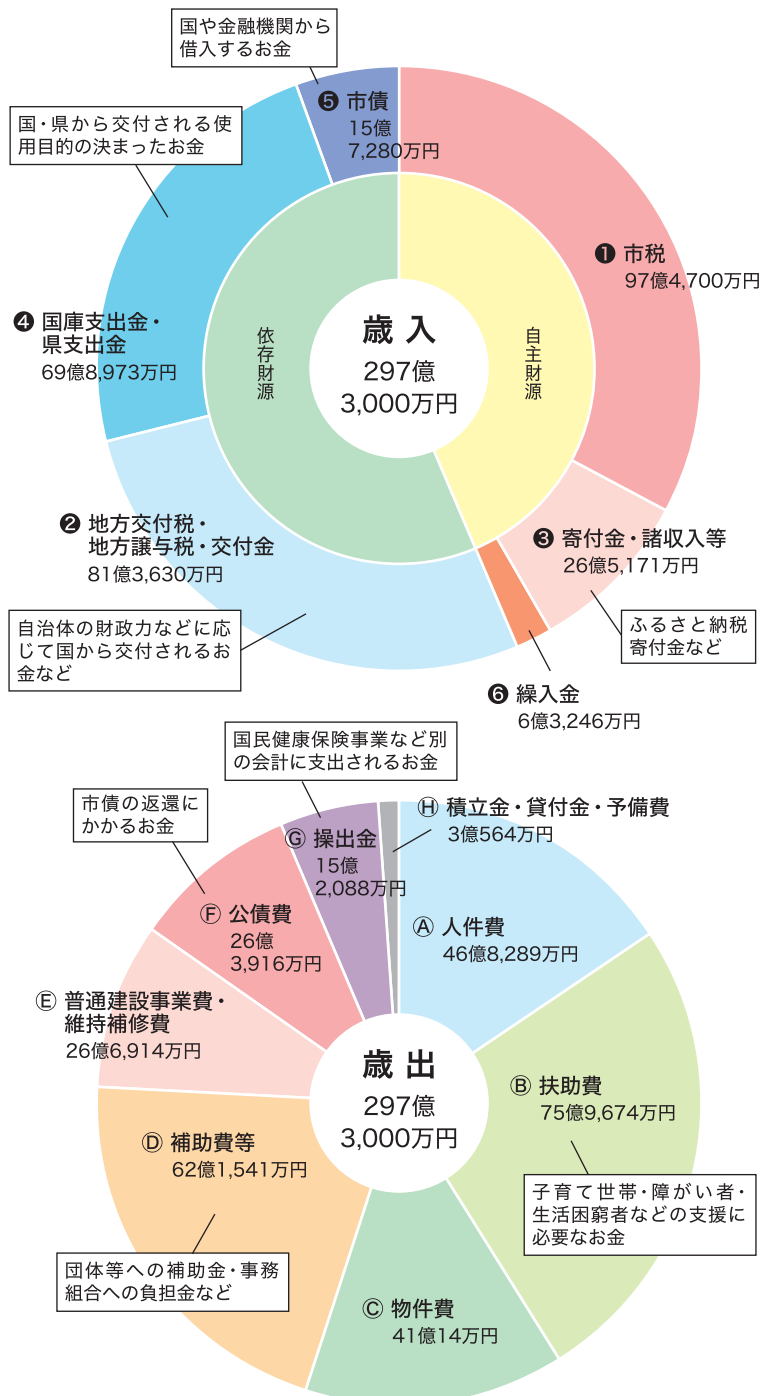
【会 期】 2月21日～3月21日(30日間)

【議決内容】 市提出議案29件を可決、1件の専決処分を承認、10件の人事案件に同意・異議なしとしたほか、陳情1件を審査しました。3つの常任委員会の審査内容はP.4～P.6に、全議案の議決の詳細はP.14～P.15に記載しています。

令和6年度 予算案を審査

一般会計予算 297億3,000万円

令和6年度の一般会計の予算規模は、297億3,000万円。前年度比5.1%の増で、過去最大規模となりました。市制70周年という大きな節目を迎える令和6年度に、持続可能な発展へつなげ、市民が安心して暮らすことができるまちづくりを目指して審査を行いました。



鯖江さん家の家計簿

市の一般会計予算を一般家庭の家計簿に例えてみました。



〈年間収入 595万円〉

① 給料(基本給)	195万円
市税	
② 給料(諸手当)	163万円
地方交付税・地方譲与税・交付金	
③ 副業収入	53万円
寄付金・財産収入・使用料など諸収入	
④ 親からの援助	140万円
国庫支出金・県支出金	
⑤ ローン(借入金)	31万円
市債	
⑥ 貯金の取り崩し	13万円
繰入金	

〈年間支出 595万円〉

① 食費	94万円
人件費	
② 医療費・介護費など	152万円
扶助費	
③ 光熱水費・日用品など	82万円
物件費	
④ 町内会費・税金など	124万円
補助費等	
⑤ 家の改修・車の修理代など	53万円
普通建設事業費・維持補修費	
⑥ ローンの返済	53万円
公債費	
⑦ 子どもへの仕送り	31万円
繰入金	
⑧ 貯金・その他	6万円
積立金・貸付金・予備費	

*金額は端数処理をしています。

*金額は予算額の5,000分の1で計算し、端数処理をしています。

予算案の一部

子育て応援物価高騰 対策給付金事業

2億4,600万円



子育て世帯の経済的な負担軽減のため、0歳～18歳の子がいる家庭に対し、子ども1人当たり給付金2万円を給付する。

デジタル決済消費喚起 事業

7,265万円



地域経済の活性化を図るため、ふくアプリ内ふくいはいびコインを利用してプレミアム付デジタルポイントを発行する。

クリエイティブ教育都市 事業

183万円



児童のプログラミング技術の習得を目指し、専用パソコンを利用したクラブの実施に加え、カリキュラムを実施するパイロット校を選定する。

街なか交流施設事業

340万円



鯖江駅前ビルの空き店舗を借り上げ、お試し型のアンテナショップができる施設に整備し、新たな賑わいの拠点にする。

⇒P.5

JK課10周年記念事業

230万円



記念すべき10周年企画として、JK課10年の歩みや活動風景を通じて鯖江市に興味をもってもらうイベントを実施する。

民間活力ですいすい スイミング事業

1,720万円



令和5年度の2校(片上、北中山)に4校(神明、鳥羽、豊、河和田)を追加し、6つの小学校で、水泳授業に民間事業者を活用する。

3R教育推進事業

696万円



地域おこし協力隊インターン制度を活用して廃棄物削減に取り組む隊員を委嘱し、生ごみ分解処理容器のモニターへの支援を行う。

保育士確保・定着支援 事業

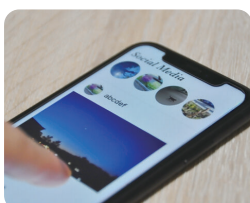
2,398万円



保育士の確保や掘り起こし、労働環境の改善による離職防止や保育職の魅力の発信を、合計14の事業により総合的に実施する。⇒P.6

インスタグラム活用事業

291万円



インフルエンサーの訴求力・影響力を活用した市の魅力発信や、インフルエンサーの養成や映えスポットを作るためのワークショップを開催する。

越前鯖江デザイン経営 スクール事業

450万円



持続可能な地場産業の確立を目的にスクール事業を開催し、多方面でのプロモーションを展開することで産地企業へのPRにつなげる。

*金額は端数処理をしています。